

2023年06月 現在

VMware vRealize(R) Suite 2019

VMware vCloud Suite(R) 2019

VMware vRealize Suite 2019 は、仮想マシン貸出の効率化と運用業務の自動化、課金管理、システムの問題解決支援を実現するためのコンポーネントを含むスイート製品です。VMware vCloud Suite 2019は、VMware vRealize Suite 2019に、VMware vSphere仮想化基盤コンポーネントを加えたスイート製品です。

VMware vRealize Suite 2019/VMware vCloud Suite 2019を利用することにより、企業内クラウド環境のインストールと初期構築および運用管理にかかる時間と労力を削減します。VMware vRealize Suite 2019には、VMware vRealize Suite Lifecycle Manager、VMware vRealize Log Insight、VMware vRealize Operations Manager、VMware vRealize Automationが含まれます。VMware vCloud Suite 2019には、VMware vRealize Suite 2019に加えて、VMware vSphereが含まれます。

VMware vRealize Suite 2018/VMware vCloud Suite 2018以前に含まれていたVMware vRealize Business for Cloudは、VMware vRealize Suite 2019/VMware vCloud Suite 2019からは、VMware vRealize Operations Managerの機能として含まれています。

- **VMware vSphere**

PRIMEQUEST 3000/2000シリーズ / PRIMERGY

- **VMware vRealize Suite Lifecycle Manager**

PRIMEQUEST 3000/2000シリーズ / PRIMERGY

- **VMware vRealize Log Insight**

PRIMEQUEST 3000/2000シリーズ / PRIMERGY

- **VMware vRealize Operations Manager**

PRIMEQUEST 3000/2000シリーズ / PRIMERGY

- **VMware vRealize Automation**

PRIMEQUEST 3000/2000シリーズ / PRIMERGY

- VMware vSphere

その他

- VMware vRealize Suite Lifecycle Manager

その他

- VMware vRealize Log Insight

その他

- VMware vRealize Operations Manager

その他

- VMware vRealize Automation

その他

1. 略語

本文中では、正式名称を以下のように略記する場合があります。

表1. 略語

正式名称	略記
VMware vRealize Suite	vRealize Suite
VMware vCloud Suite	vCloud Suite
VMware vSphere	vSphere
VMware vRealize Suite Lifecycle Manager	vRSLCM
VMware vRealize Log Insight	vRLI
VMware vRealize Operations Manager	vROps Mgr
VMware vRealize Automation	vRA
VMware ESXi	ESXi
VMware vCenter Server	vCenter Server
VMware vCenter Server Appliance	vCSA

2. vRealize Suite/vCloud Suiteとは

vRealize Suite/vCloud Suiteは、仮想マシン貸出の効率化と運用業務の自動化、課金管理、システムの問題解決支援を実現するためのコンポーネント群です。vRealize Suite/vCloud Suiteに含まれる複数コンポーネントを組み合わせて利用することで、(1)物理・仮想を含めた仮想インフラ環境の構築・運用の自動化、(2)システム内のパフォーマンスやリソース使用量の監視、(3)ログ情報の監視、(4)vRealize Suite/vCloud Suiteに含まれるコンポーネントのインストールとアップデートの一元管理、を行うことができ、管理者の運用管理にかかる労力やコストを低減することができます。

vRealize Suite/vCloud SuiteにはStandard/Advanced/Enterpriseの3つのエディションが存在し、富士通からは全てのエディションを提供しています。vRealize Suite/vCloud Suiteは各エディションで使用できるコンポーネントおよび機能が異なります。vCloud SuiteはvRealize SuiteにvSphereを加えた製品です。各エディションで使用できるコンポーネントを表2に示します(各コンポーネントの詳細を以降のセクションに記載します)。

表2. vRealize Suite/vCloud Suiteに含まれるコンポーネントとエディション

コンポーネント		役割	vRealize Suite			vCloud Suite		
	エディション		Standard	Advanced	Enterprise	Standard	Advanced	Enterprise
VMware vSphere	Enterprise Plus	仮想化基盤	-	-	-	○	○	○
VMware vRealize Suite Lifecycle Manager		コンポーネント製品のライフサイクル管理 (インストール・設定・アップデート等)	○	○	○	○	○	○
VMware vRealize Log Insight		ログ管理・ログ分析	○	○	○	○	○	○
VMware vRealize Operations	Advanced	パフォーマンスとキャパシティの最適化・レポートینگ	○	○	-	○	○	-
	Enterprise		-	-	○	-	-	○
VMware vRealize Automation	Advanced	セルフサービスによるエンドユーザへの仮想マシン・アプリケーション提供	-	○	-	-	○	-
	Enterprise		-	-	○	-	-	○

○:利用可能 -:利用不可

3. vSphereとは

vSphereはサーバの仮想化を実現するためのコンポーネントが含まれる製品です。1つの物理サーバに複数の仮想サーバを集約させることで、設置場所、消費電力、ハードウェア保守費などのTCOを削減することができます。

vSphereはvRealize Suite/vCloud Suite環境の基盤となる仮想プラットフォームを構築するコンポーネントであり、vRealize Suite/vCloud Suiteの他コンポーネント(vRAなど)を利用する上での必須コンポーネントになります。

vSphereの機能の詳細は、vSphereのソフトウェアガイドをご確認ください。

4. vRSLCMとは

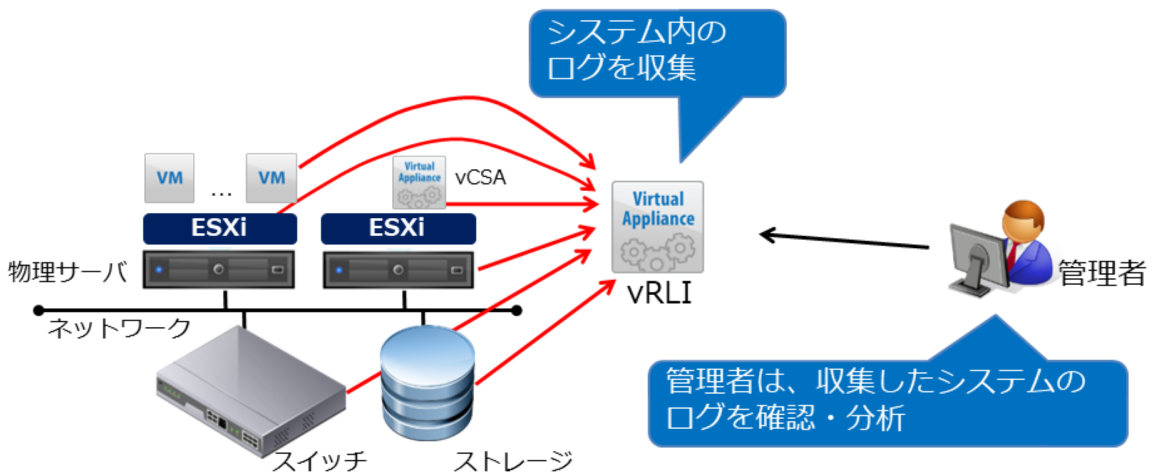
vRSLCMは、vRealize Suite/vCloud Suiteに含まれるコンポーネントの一括インストールおよびアップデートの管理機能を提供するコンポーネントです。管理者は、vRSLCMを利用することで、vRealize Suite/vCloud Suiteコンポーネントのインストールおよびアップデートを簡易化し、初期構築と運用にかかる時間と労力を削減することができます。

vRealize Suite/vCloud Suite管理サーバ群



5. vRLIとは

vRLIは、vCenter ServerやESXiなどお客様がご利用のシステム内のログを一括収集し、収集したログに対して、単一UI (User Interface)を用いた分析機能を提供するコンポーネントです。管理者は、vRLIを利用することで、複数システムにわたるトラブルを一つのUIから時系列で分析することができ、トラブルシューティングにかかる時間と労力を低減することができます。



6. vROps Mgrとは

vROps MgrはvSphere環境を効率的に運用するために必要な情報を管理者に提供するコンポーネントです。

vROps Mgrは vCenter Server から vSphere 環境の健全性やリソース使用状況のデータを収集・蓄積し、それらのデータを分析することで、以下の情報を管理者に提供します。

- ・ 仮想環境の健全性の総合評価
- ・ ESXiホストや仮想マシンの異常検出
- ・ キャパシティ予測
- ・ リソース最適化に関する情報
- ・ コスト算出、コスト比較

収集したデータを健全性、リスク、効率など複数の評価観点から分析し、その結果をバッジと呼ばれるアイコンで表示します。バッジのスコアとバッジの色を組み合わせることで仮想環境の状態をわかりやすく表示することができます。

Advancedエディションでは、他のVMware製品やサードパーティ製品の情報を収集することができるアダプタを利用できます。

Enterpriseエディションでは、アプリケーションの情報を収集することができます。

下図でvROps Mgrの画面例を示します。

環境に問題がない場合、健全性のバッジは緑色で表示されています。

運用環境で問題が発生した場合、健全性のバッジが赤で示され、管理者は直感的に、運用環境に問題が生じていることを理解できます。

さらに、アラート通知内容から、どのシステムにどのような問題があるかを把握できます。

The screenshot shows the vROps Manager dashboard. At the top, there's a '推奨アクション' (Recommended Actions) section. Below it, a '健全性ステータス' (Health Status) section displays a green badge with the number '5' and 'オブジェクト' (Objects). A table below shows a list of alerts, with one alert circled in red: '27-vRL147-01-1810' with a red badge, indicating a problem. A blue callout box points to the overall dashboard, stating: '全体の様子を俯瞰的に表示。色で問題の重症度を表す。' (Overview of the overall situation. Color indicates the severity of the problem). Another blue callout box points to the detailed alert view, stating: '問題の発生している部分の詳細を深掘りして確認できる。' (You can dig deeper into the details of the problem occurrence). A legend at the bottom left shows the badge color scale: Green (問題なし - No problem), Yellow (要確認 - Confirmation required), Orange (要確認 - Confirmation required), and Red (要確認 - Confirmation required).

全体の様子を俯瞰的に表示。色で問題の重症度を表す。

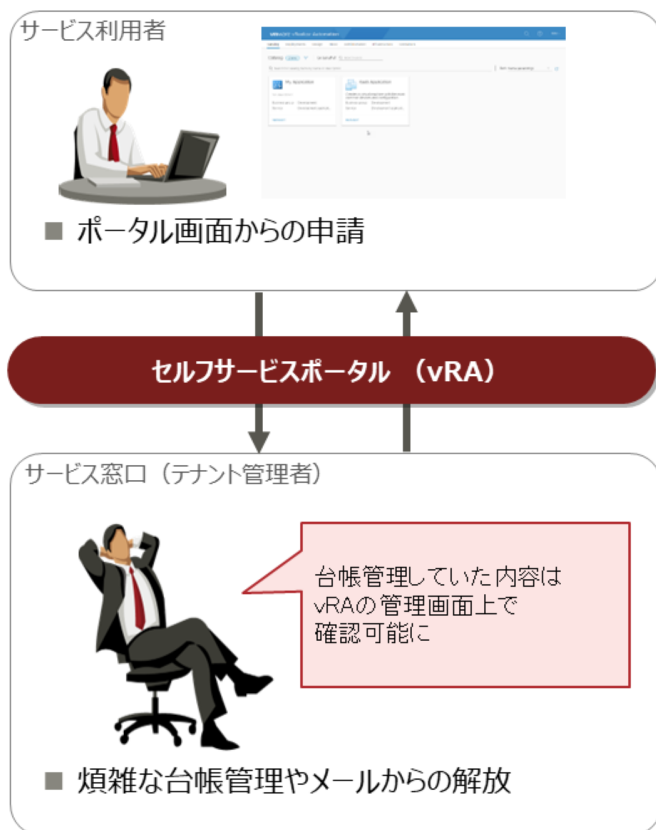
問題の発生している部分の詳細を深掘りして確認できる。

バッジ
色で問題の重症度を表す
問題なし → 要確認

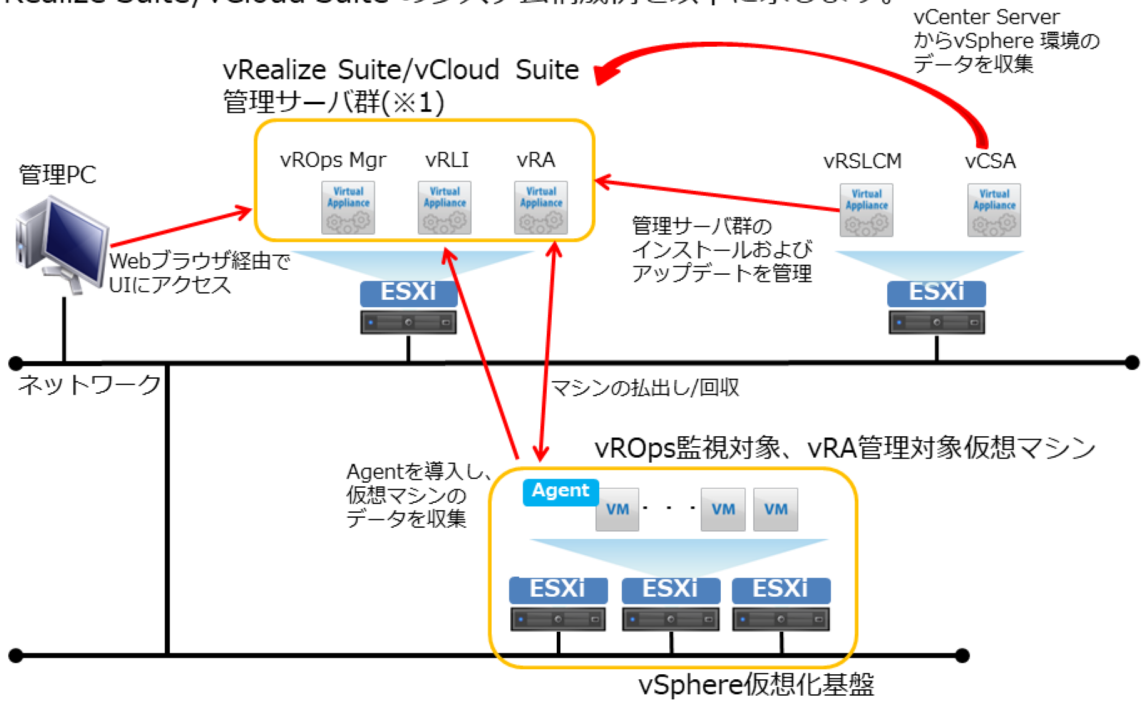
7. vRAとは

vRAは、セルフサービスによるエンドユーザへの仮想マシンの払出しや、仮想マシンの払出しに伴う承認プロセスワークフローの自動化機能を提供するコンポーネントです。エンドユーザは専用のWebポータルを利用し、システム管理者/組織管理者により定義された仮想マシンのひな形から、ニーズに合った仮想マシンの利用申請を行います。エンドユーザは、組織の承認者による承認を経て、申請した仮想マシンを利用することができます。システム管理者は、エンドユーザの仮想マシン利用にあたって、仮想マシンの利用申請や承認プロセスなどのワークフローを定義することができるため、それぞれの企業ポリシーにのっとった社内クラウド環境を提供することができます。

Enterpriseエディションでは、Advancedエディションの機能に加え、アプリケーションサービスの機能を利用できます。



vRealize Suite/vCloud Suite のシステム構成例を以下に示します。



(※1) 各コンポーネントは仮想アプライアンス形式で提供されます。

vRealize Suite 2018/vCloud Suite 2018からvRealize Suite 2019/vCloud Suite 2019へ機能強化された項目は以下のとおりです。

1. vRSLCMの機能強化

UIの改善

- ・シンプルでわかりやすい操作ができるようになりました。

ロッカーによる一括管理

- ・ライセンス、証明書、パスワードはロッカーと呼ばれるサービスで管理され、情報の保護が強化されました。

2. vRLIの機能強化

証明書管理の改善

- ・サムプリント、証明書プロバイダ情報、期限切れなどの条件で検索できます。

ログのエクスポート機能の強化

- ・ログのエクスポート機能において、上限2万行という制限がなくなり、2万行を超えるログもNFS 共有へエクスポートできるようになりました。

コンテンツパックの強化

- ・vSphere、vSAN、NSX-T、vRealize Operations Manager、VMware Identity Manager、vRealize Automation、Linuxのコンテンツパックの機能が強化されました。

3. vROps Mgrの機能強化

仮想マシンの監視強化

- ・ダッシュボードから仮想マシン内プロセスのリソース使用率Top Nを表示することができます。

根本原因分析の支援

- ・Troubleshooting Workbenchを使用してトラブルの根本原因分析を支援します。

キャパシティ プランニングの機能強化

- ・vSANを含んだvSphere環境でのキャパシティプランニングが可能になりました。

4. vRAの機能強化

インストールの簡略化

- ・アプライアンスでの提供になり、Windows Server、SQL Serverが、vRealize Automationのインストール要件ではなくなりました。
- ・改善されたvRSLCMのGUIを使って、vRealize Automationのインストール設定が簡単になりました。

可用性の強化

- ・3ノード構成を初期構成で選択でき、耐障害性を考慮した配備ができるようになりました。

vRealize Operations Managerとの連携強化

- ・仮想マシンの配備がvRealize Operations Managerで設定したポリシー(バランス、集約)に沿って行うことができます。

<<2021年4月1日 追記>>

vRealize Automationに以下のコンポーネントが追加されました。

vRealize Automation Salt Stack Config

・vRealize Automation Salt Stack Configはソフトウェア構成管理コンポーネントです。あらかじめシステム構成を定義することで、仮想マシンに対するソフトウェア導入の自動化を実現します。また定義したシステムの状態に対しずれが生じると、システム構成を自動修復することができます。

【ライセンス一覧】

vRealize Suite 2019 Standard

- VMware vRealize Suite 2019 Standard 1CPU(32コア)または150SI 1年間平日サポート付
- VMware vRealize Suite 2019 Standard 1CPU(32コア)または150SI 1年間24時間サポート付
- VMware vRealize Suite 2019 Standard 1CPU(32コア)または150SI 5年間平日サポート付
- VMware vRealize Suite 2019 Standard 1CPU(32コア)または150SI 5年間24時間サポート付

vRealize Suite 2019 Advanced

- VMware vRealize Suite 2019 Advanced 1CPU(32コア)または150SI 1年間平日サポート付
- VMware vRealize Suite 2019 Advanced 1CPU(32コア)または150SI 1年間24時間サポート付
- VMware vRealize Suite 2019 Advanced 1CPU(32コア)または150SI 5年間平日サポート付
- VMware vRealize Suite 2019 Advanced 1CPU(32コア)または150SI 5年間24時間サポート付

vRealize Suite 2019 Enterprise

- VMware vRealize Suite 2019 Enterprise 1CPU(32コア)または150SI 1年間平日サポート付
- VMware vRealize Suite 2019 Enterprise 1CPU(32コア)または150SI 1年間24時間サポート付
- VMware vRealize Suite 2019 Enterprise 1CPU(32コア)または150SI 5年間平日サポート付
- VMware vRealize Suite 2019 Enterprise 1CPU(32コア)または150SI 5年間24時間サポート付

vCloud Suite 2019 Standard

- VMware vCloud Suite 2019 Standard 1CPU(32コア) 1年間平日サポート付
- VMware vCloud Suite 2019 Standard 1CPU(32コア) 1年間24時間サポート付
- VMware vCloud Suite 2019 Standard 1CPU(32コア) 5年間平日サポート付
- VMware vCloud Suite 2019 Standard 1CPU(32コア) 5年間24時間サポート付

vCloud Suite 2019 Advanced

- VMware vCloud Suite 2019 Advanced 1CPU(32コア) 1年間平日サポート付
- VMware vCloud Suite 2019 Advanced 1CPU(32コア) 1年間24時間サポート付
- VMware vCloud Suite 2019 Advanced 1CPU(32コア) 5年間平日サポート付
- VMware vCloud Suite 2019 Advanced 1CPU(32コア) 5年間24時間サポート付

vCloud Suite 2019 Enterprise

- VMware vCloud Suite 2019 Enterprise 1CPU(32コア) 1年間平日サポート付
- VMware vCloud Suite 2019 Enterprise 1CPU(32コア) 1年間24時間サポート付
- VMware vCloud Suite 2019 Enterprise 1CPU(32コア) 5年間平日サポート付
- VMware vCloud Suite 2019 Enterprise 1CPU(32コア) 5年間24時間サポート付

vSphereからvCloud Suiteへのアップグレード

- VMware Upgrade: vSphere 8 Standard to vCloud Suite 2019 Standard 1CPU(32コア) 1年間平日サポート付
- VMware Upgrade: vSphere 8 Standard to vCloud Suite 2019 Standard 1CPU(32コア) 1年間24時間サポート付

- ・VMware Upgrade: vSphere 8 Enterprise Plus to vCloud Suite 2019 Standard 1CPU(32コア) 1年間平日サポート付
- ・VMware Upgrade: vSphere 8 Enterprise Plus to vCloud Suite 2019 Standard 1CPU(32コア) 1年間24時間サポート付
- ・VMware Upgrade: vSphere 8 Standard to vCloud Suite 2019 Advanced 1CPU(32コア) 1年間平日サポート付
- ・VMware Upgrade: vSphere 8 Standard to vCloud Suite 2019 Advanced 1CPU(32コア) 1年間24時間サポート付
- ・VMware Upgrade: vSphere 8 Enterprise Plus to vCloud Suite 2019 Advanced 1CPU(32コア) 1年間平日サポート付
- ・VMware Upgrade: vSphere 8 Enterprise Plus to vCloud Suite 2019 Advanced 1CPU(32コア) 1年間24時間サポート付
- ・VMware Upgrade: vSphere 8 Standard to vCloud Suite 2019 Enterprise 1CPU(32コア) 1年間平日サポート付
- ・VMware Upgrade: vSphere 8 Standard to vCloud Suite 2019 Enterprise 1CPU(32コア) 1年間24時間サポート付
- ・VMware Upgrade: vSphere 8 Enterprise Plus to vCloud Suite 2019 Enterprise 1CPU(32コア) 1年間平日サポート付
- ・VMware Upgrade: vSphere 8 Enterprise Plus to vCloud Suite 2019 Enterprise 1CPU(32コア) 1年間24時間サポート付

1. vRealize Suite/vCloud Suiteライセンス購入本数の考え方

vRealize Suite/vCloud Suiteのライセンスは、PLU(Portable License Unit)です。PLUは、vRealize Suite/vCloud Suiteで採用されるライセンスカウント単位です。CPU単位ライセンスとOSI単位ライセンスを、利用環境に応じて変更することが可能となっています。PLUライセンスでは、1CPUライセンス=150SIライセンスとして変更し利用できます。

以下に、物理CPU単位でライセンスカウントを行う場合とOSI単位でライセンスカウントを行う場合それぞれのライセンス本数の考え方を説明します。

【物理CPU】

CPU単位の場合、次の物理CPU数を合計したCPU数分、ライセンスを購入する必要があります。

- ・ vRealize Suite/vCloud Suiteの各コンポーネント(管理サーバ群)が動作する物理マシンの物理CPU数
- ・ vRealize Suite/vCloud Suiteの管理下にある仮想マシンが動作する物理マシンの物理CPU数
- ・ vRealize Suite/vCloud Suiteの管理下にある物理マシンの物理CPU数

<<2020年4月1日 追記>>

2020年4月2日以降、CPU単位のライセンスに、物理コア32個までという制限が加わりました。CPU1個あたり、32コア毎に、1本の製品が必要です。

(例) 搭載しているCPUが32コア以下の場合は、CPU1個あたり1本の製品が必要です。33コア～64コアの場合は、CPU1個あたり2本の製品が必要となります。

なお、下記の例では、サーバのCPUはすべて32コア以下とします。

例を図1に示します。

【OSI】

150SIに対して1ライセンスが必要となります。次のOSI数を合計し、合計したOSI数を満たすようにライセンスを購入する必要があります。

- ・ vRealize Suite/vCloud Suiteの各コンポーネントのOSI数
- ・ vRealize Suite/vCloud Suiteの管理下にある物理/仮想マシンのOSI数

例1) OSIの合計数が420SIの場合、3ライセンス(450SI分)を購入する必要があります。

$420\text{SI} \div (15:1\text{ライセンスでまかなうことができるOSI数}) = 2\dots12$

したがって、3ライセンス購入が必要です。

例を図1に示します。

以下にvSphere仮想化基盤におけるライセンスの考え方を示します。

vSphere

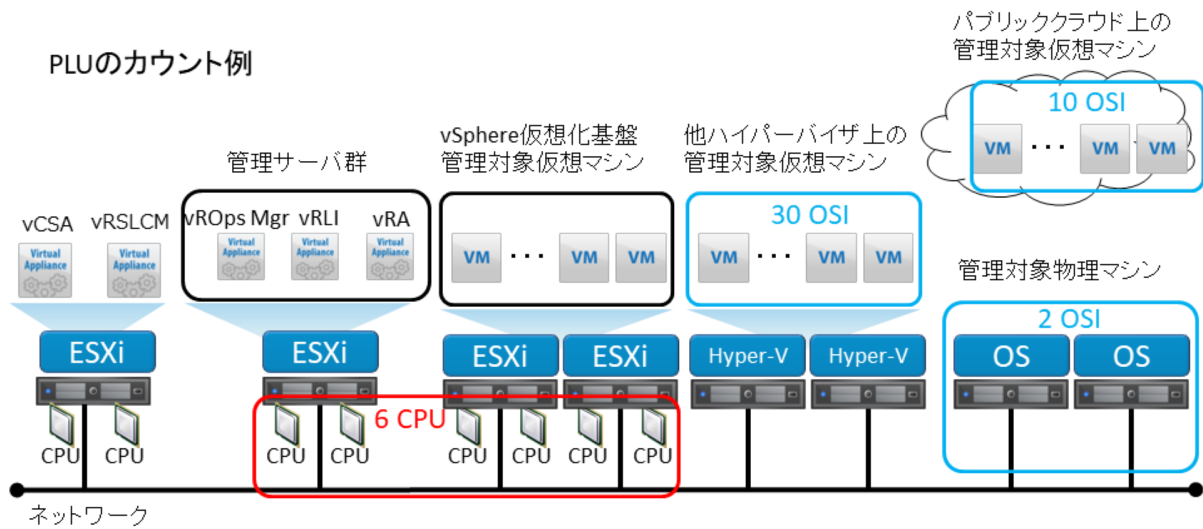
以下の物理CPUがライセンスのカウント対象です。

- ・ ESXiが動作する物理マシンの物理CPU

例を図2に示します。

ライセンスのカウント対象のCPU/OSIについて、全コンポーネントの合計CPU/OSI数分のvRealize Suite/vCloud Suiteライセンスを購入する必要がありますが、複数のコンポーネントでカウント対象となるCPU/OSIを重複してカウントする必要はありません。

図1 . ライセンス購入例(vRealize Suite/vCloud Suite)



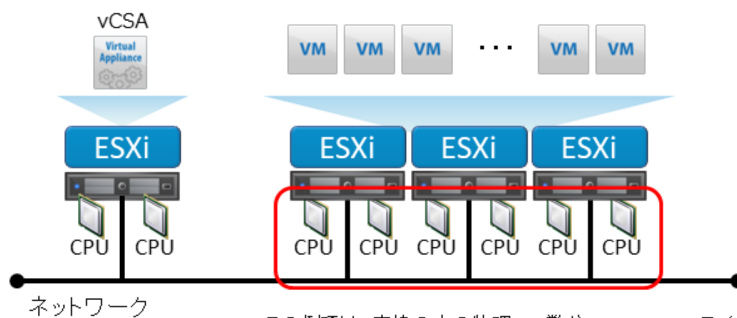
この例では、管理サーバ群の動作する物理サーバ、およびESXiサーバ上で動作する管理対象仮想マシンの動作する物理サーバをCPU単位で、他ハイパーバイザ上やパブリッククラウド上で動作する管理対象仮想マシンおよび物理マシンで動作するOSをOSI単位でカウントします。

CPU単位のカウント部分:赤枠の中の物理CPU数分、vRealize Suite/vCloud Suiteライセンスを購入する必要があります。
物理CPUが6個あるので、vRealize Suite/vCloud Suiteライセンスを6本購入する必要があります。

OSI単位のカウント部分:青枠の中のOSI数分、vRealize Suite/vCloud Suiteライセンスを購入する必要があります。
他ハイパーバイザ上で動作する管理対象仮想マシンが30台(30 OSI)、パブリッククラウド上で動作する管理対象仮想マシンが10台(10 OSI)、管理対象物理マシン2台(2 OSI)の、合計42 OSI分のライセンスを購入する必要があります。すなわち、vRealize Suite/vCloud Suiteライセンスを3本購入する必要があります。
したがって、上記環境例ではCPU単位とOSI単位でのライセンス数を合計して、9本のvRealize Suite/vCloud Suiteライセンスが必要となります。

図2 . ライセンス購入例(vSphere)

VMware vSphereの場合



この例では、赤枠の中の物理CPU数分、vCloud Suiteライセンスを購入する必要があります。
(物理CPUが6個あるので、vCloud Suiteライセンスを6本購入する必要があります)

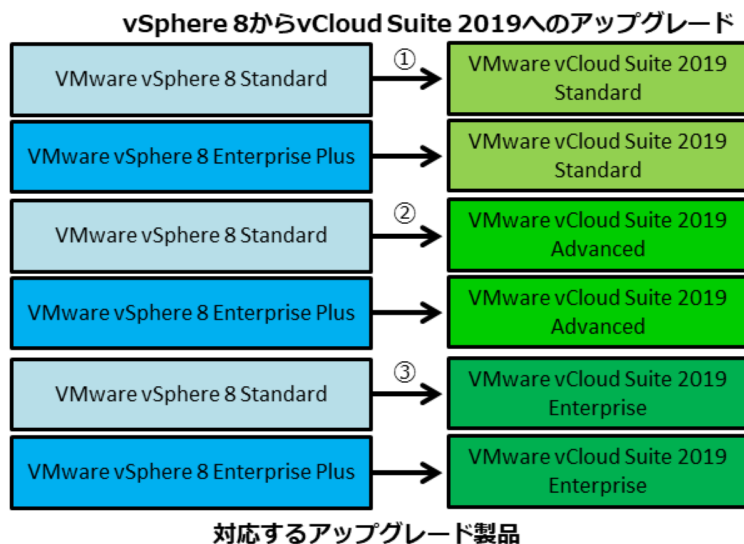
2. アップグレード製品

SupportDesk契約が有効期間内であれば、アップグレード製品を購入することで、vSphereからvCloud Suite 2019にアップグレードすることができます。アップグレード製品を購入してVEEMウェア社のライセンスポータルに登録することで、新しいライセンスを入手できます。また、アップグレード先のエディションのサポートとして、1年のSupportDeskが提供されます。

vSphereからvCloud Suiteへのアップグレード

アップグレード可能なエディションと、対応するアップグレード製品を図3に示します。

図3 . vSphere 8からvCloud Suite 2019へのアップグレード



①VMware Upgrade

vSphere 8 Standard to vCloud Suite 2019 Standard 1CPU(32コア) 1年間平日サポート付
vSphere 8 Standard to vCloud Suite 2019 Standard 1CPU(32コア) 1年間24時間サポート付
vSphere 8 Enterprise Plus to vCloud Suite 2019 Standard 1CPU(32コア) 1年間平日サポート付
vSphere 8 Enterprise Plus to vCloud Suite 2019 Standard 1CPU(32コア) 1年間24時間サポート付

②VMware Upgrade

vSphere 8 Standard to vCloud Suite 2019 Advanced 1CPU(32コア) 1年間平日サポート付
vSphere 8 Standard to vCloud Suite 2019 Advanced 1CPU(32コア) 1年間24時間サポート付
vSphere 8 Enterprise Plus to vCloud Suite 2019 Advanced 1CPU(32コア) 1年間平日サポート付
vSphere 8 Enterprise Plus to vCloud Suite 2019 Advanced 1CPU(32コア) 1年間24時間サポート付

③VMware Upgrade

vSphere 8 Standard to vCloud Suite 2019 Enterprise 1CPU(32コア) 1年間平日サポート付
vSphere 8 Standard to vCloud Suite 2019 Enterprise 1CPU(32コア) 1年間24時間サポート付
vSphere 8 Enterprise Plus to vCloud Suite 2019 Enterprise 1CPU(32コア) 1年間平日サポート付
vSphere 8 Enterprise Plus to vCloud Suite 2019 Enterprise 1CPU(32コア) 1年間24時間サポート付

3. ライセンス商品の購入における留意事項

(1) PRIMERGYまたはPRIMEQUESTとの同時購入

富士通が販売するvCloud Suiteを購入する場合、PRIMERGY または PRIMEQUESTを同時に購入する必要があります。(vRealize Suiteは除く)

(2) vSphere/vCenter Serverライセンスの別途購入

vRealize Suiteをご利用の際には、本製品のライセンスとは別に、vSphere/vCenter Serverライセンスが必要となります。また、vCloud Suiteをご利用の際には、本製品のライセンスとは別に、vCenter Serverライセンスが必要となります。

ライセンスを所有されていない場合には別途購入する必要があります。

(3) コンポーネントの分割利用

vRealize Suite/vCloud Suiteに含まれるコンポーネントを分割して、vRealize Suite/vCloud Suiteライセンスが適用されていない環境で利用することはできません。

各コンポーネントは必ずvRealize Suite/vCloud Suiteライセンスが適用されたESXiホスト上で動作させる必要があります。(すべてのコンポーネントを同じESXiホスト上で動作させる必要はありません)

4. vRealize Suite/vCloud Suiteのサポートサービス

富士通が販売するvRealize Suite/vCloud Suiteには、vRealize Suite/vCloud Suite ライセンスに加えて、1年間/5年間の有償サポートサービス「SupportDesk Standard」がバンドルされています。富士通がこれまでに蓄積した運用ノウハウに加えて、ガイエムウェア社との緊密な連携により安心のサポートをご提供します。サポートサービスの内容を表2に示します。

サポートサービスに関する留意事項は以下のとおりです。

(1) vRealize Suite/vCloud Suiteにバンドルされている「SupportDesk Standard」のサポート対象はvRealize Suite/vCloud Suiteのみです。ハードウェア/ゲストOS/ミドルウェアのサポートは、別途、SupportDeskの契約が必要です。vRealize SuiteのサポートではvSphere/vCenter ServerのSupportDeskの契約は必須となります。また、vCloud SuiteのサポートではvCenter ServerのSupportDeskの契約は必須となります。

(2) vRealize Suite/vCloud Suiteにバンドルされている「SupportDesk Standard」のサポートサービスの期間は、製品出荷日から起算して、1年/5年になります。

(3) vRealize Suite/vCloud Suiteにバンドルされている「SupportDesk Standard」のサポートサービス期間満了時に、サポートサービスを継続するには、別途、SupportDesk契約の更新が必要です。SupportDesk契約の更新するためには、年額契約のサポート商品を購入してください。更新後のサポート開始日は、vRealize Suite/vCloud Suiteにバンドルされている「SupportDesk Standard」のサポートサービス終了日の翌日としてください。

(4) vRealize Suite/vCloud Suite上で動作するソフトウェアのトラブルについて、Microsoft社など、ソフトベンダのサポート方針により、物理サーバ上でトラブルを再現することが必要となる場合があります。その際はおお客様のご協力をお願いする場合がありますので、あらかじめご了承ください。

また、パブリッククラウドを管理対象とする場合のトラブルのサポート時には、お客様からパブリッククラウドへお問い合わせいただくことが必要となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

(5) vRealize Suite/vCloud Suiteのサポート終了日は、ガイエムウェア社が公開するライフサイクルポリシーに準じています。

(6) vCloud Suiteに含まれるvSphere上で動作可能なゲストOSのうち、富士通のSupportDeskにおいて、OSとしてサポート契約可能なゲストOSについては、「関連URL」に記載されている「FUJITSU Server PRIMERGY サイト VMware製品ご紹介」、もしくは「FUJITSU Server PRIMEQUEST 3000シリーズ VMware情報」/「FUJITSU Server PRIMEQUEST 2000シリーズ VMware情報」にて、お使いのESXiに対応する「VMware ESXi サポートゲスト OS 一覧表」を参照してください。

SupportDesk契約が結べないOSで、OSの問題が発生した場合には、vCloud Suiteに関する富士通のサポートは受けられませんが、ゲストOSに関する富士通のサポートは受けられません。

(7) サポート時間帯

富士通のサポートサービスには、以下2つのサポート時間帯があります。

-24時間サポート×365日

-平日（8:30-19:00）サポート

サーバ仮想化環境（vSphere、vCenter Server）と同じサポート時間帯のvRealize Suite/vCloud Suiteを必ず購入してください。

表2 富士通のサポートサービス

サービス	内容
<p>お客様専用ホームページ「SupportDesk-Web」による情報提供</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・修正情報や技術情報、セキュリティ情報などの提供を行います。 ・SupportDesk-Webによりいつでも最新情報を閲覧することができます。 ・お客様自身での問題解決が可能となり、トラブルを未然に防止することができます。
<p>VMware製品のアップグレード権</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・追加費用なくVMware製品のバージョンアップグレードができます。
<p>専門技術者によるQ&A対応/問題解決支援</p>	<p>電話、FAX、SupportDesk-Web、E-mailによりVMware製品に関するトラブル/Q&Aに、富士通サポートセンター(OSC※)の専門技術者が対応します。万一のトラブル時には、現象からの原因解析や回避策の提示などを行い、お客様の疑問・トラブルの早期解決を支援します。</p> <p>※OSC:One Stop Solution Center</p>

関連ソフト

なし

1. vRealize Suite/vCloud Suiteのシステム要件

vRealize Suiteを動作させるためには、別途、vSphere/vCenter Serverが必要です。

vCloud Suiteを動作させるためには、別途、vCenter Serverが必要です。

2. vRealize Suite/vCloud Suiteの各コンポーネントのサポート

富士通でサポート対象となるvRealize Suite/vCloud Suiteの各コンポーネントについては、「関連URL」に記載されている「FUJITSU Server PRIMERGY サイト VMware製品ご紹介」にて、vRealize Suite/vCloud Suiteに関する「サポート版数一覧表」を参照してください。

3. vRealize Suite/vCloud Suite各コンポーネントのシステム要件

vRealize Suite/vCloud Suiteに含まれる各コンポーネントのシステム要件については、vRealize Suite/vCloud Suite のドキュメントを参照してください。vRealize Suite/vCloud Suite のドキュメントは、「関連URL」に記載されている「vRealize Suite 2019 ドキュメント」「vCloud Suite 2019 ドキュメント」から参照できます。

4. 前版との差異について

vRealize Suite 2019/vCloud Suite 2019以降、PRIMEQUEST 1000シリーズでの動作がサポート対象外となりました。

お客様向けURL

- **FUJITSU Server PRIMERGY サイト VMware製品ご紹介**
 富士通のPCサーバ FUJITSU Server PRIMERGY のVMware製品に関する情報を紹介しています。
<https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/software/vmware/>
- **FUJITSU Server PRIMERGY システム構成図(価格表)**
 FUJITSU Server PRIMERGYのシステム構成図(価格表)を公開しています。
<https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/system/>
- **FUJITSU Server PRIMEQUEST 3000シリーズ VMware情報**
 富士通の基幹IAサーバ FUJITSU Server PRIMEQUEST 3000シリーズのVMware製品に関する情報を紹介しています。
<https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primequest/products/3000/os/vmware/>
- **FUJITSU Server PRIMEQUEST 2000シリーズ VMware情報**
 富士通の基幹IAサーバ FUJITSU Server PRIMEQUEST 2000シリーズのVMware製品に関する情報を紹介しています。
<https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primequest/products/2000/os/vmware/>
- **FUJITSU Server PRIMEQUEST 3000シリーズ カタログ・技術資料**
 FUJITSU Server PRIMEQUEST 3000シリーズのカタログ・技術資料を公開しています。
<https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primequest/products/3000/catalog/>
- **FUJITSU Server PRIMEQUEST 2000シリーズ カタログ・技術資料**
 FUJITSU Server PRIMEQUEST 2000シリーズのカタログ・技術資料を公開しています。
<https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primequest/products/2000/catalog/>
- **SupportDesk Standard ソフトウェア関連**
 SupportDesk Standard(ソフトウェア関連)に関する情報を紹介しています。
<https://www.fujitsu.com/jp/services/infrastructure/service-desk/>
- **vRealize Suite 2019/vCloud Suite 2019のダウンロードサイト**
 vRealize Suite 2019/vCloud Suite 2019の各コンポーネントのダウンロードができます。
<https://customerconnect.vmware.com/jp/downloads/>
- **vRealize Suite 2019 ドキュメント**
 vRealize Suite 2019の各種ドキュメントが公開されています。
<https://docs.vmware.com/jp/vRealize-Suite/>
- **vCloud Suite 2019 ドキュメント**
 vCloud Suite 2019の各種ドキュメントが公開されています。
<https://docs.vmware.com/jp/vCloud-Suite/>